

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **17**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	III 健やか安心都市
施策名	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	中村 悦雄

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
第5期京丹後市高齢者保健福祉計画	社会情勢の変化や今後の高齢化への対策をより一層推進するため、市が目指すべき高齢者保健福祉の基本的な政策目標を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにすることを目的として策定 ※ 老人福祉法第20条の8に規定する計画で、市町村老人福祉計画として策定。また、介護保険法第117条の規定に基づき策定される介護保険事業計画と一体的に策定	平成24年3月	平成24年度～ 平成26年度	

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うこと(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	健康長寿社会を実現するため	高齢者の方が長年にわたって培ってきた知識や経験を、産業振興、生涯学習、地域活動などの様々な活動に生かせるよう、生きがい活動、社会活動の推進や社会参加を支える環境整備、また介護予防などを推進することによって	健康でいきいきとして自立した生活を送り、地域の中で活動を続けていくことができるようにする。	1 生きがい活動・社会活動の推進 2 生活支援・在宅福祉対策の推進 3 社会参加を支える環境整備 4 介護予防の推進 6 「健康大長寿」のまちづくり
2	誰もが住み慣れた地域で暮らしたいと思っていることから	地域包括支援センターを中心として、保健・医療・福祉・住宅などの関係機関や地域の団体などが連携することによって	要介護状態になっても、地域で生活し続けられるための支援体制を構築する。	2 生活支援・在宅福祉対策の推進 3 社会参加を支える環境整備 4 介護予防の推進 5 介護保険制度の充実
3	高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が予測される中、また、高齢者虐待など、高齢者の権利擁護の取組が求められていることから	虐待防止施策、認知症の啓発事業などの住民の理解を深める事業、医療や介護などが連携しながら認知症ケアの充実を図る事業などを行い	高齢者が個人としての尊厳を保持し、住み慣れた地域で安心して生活できるようにする。	2 生活支援・在宅福祉対策の推進 4 介護予防の推進 6 「健康大長寿」のまちづくり
4	高齢社会では、寝たきりや認知症などによって介護が必要となる可能性が高まり、介護の問題は誰にでも起こり得る問題であるため	介護施設整備や介護サービスの充実を図り、高齢者が選択できるサービスの量と質の向上に努めることによって	持続可能な介護保険制度を構築する。	1 生きがい活動・社会活動の推進 2 生活支援・在宅福祉対策の推進 4 介護予防の推進 5 介護保険制度の充実

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
総合計画	介護予防を進めるため地域支援事業を実施します	特定高齢者(二次予防事業対象者)施策対象者(要支援・要介護状態に移行する恐れのある方の65歳以上人口割合)	0%	H16	3.2%	H20	25.0%	H25	6.2%	H26
	住み慣れた地域での介護サービスを確保します	介護保険地域密着型サービス事業所数	0か所	H16	15か所	H20	17か所	H25	20か所	H26
	認知症に関する理解を深めるためサポーターを増やします	認知症サポーターの数(講座の延べ受講者数)	新規	-	1,733人	H20	6,562人	H25	4,000人	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値 (現状)		目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
なし									

4 構成事務事業・評価結果一覧

**DO**

**CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果			
			H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性	
1 生きがい活動・社会活動の推進	1 敬老祝い事業	長寿福祉課	25,855	27,421(15,421)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	2	特定サービス	1	A	縮小
	地区主催の敬老会へ補助金交付(参加率41.0%)、喜寿・100歳以上の方へ記念品贈呈														
	2 老人クラブ活性化支援事業	長寿福祉課	8,940	9,288(3,627)	国規定	府・一部	-	サービス	団体	補	2	特定サービス	1	A	現状維持
	老人クラブの活動に対して補助金を交付(106クラブ、2,785人)														
	3 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業	長寿福祉課	8,306	9,125(5,740)	市規定	単費	○	維持管理	市民	委	1	該当なし	1	B	統合(整理)
網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営(入浴利用16,991人、研修室等利用件数78件)															
2 生活支援・在宅福祉対策の推進	4 指定管理施設運営事業	長寿福祉課	10,892	11,357(11,357)	市規定	単費	○	維持管理	市民	指	4	民間補完福祉増進	1,4	A	現状維持
	高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理(5施設)														
	5 シルバー人材センター運営助成事業	長寿福祉課	23,600	23,100(23,100)	国規定	単費	○	サービス	事業者	補	2	特定サービス	1	A	現状維持
	シルバー人材センター事業を助成(会員数787人、受注件数5,581件)														
	1 老人保護措置事業	長寿福祉課	149,020	155,443(124,811)	国規定	単費	○	サービス	市民	扶	5	生活支援安全網	2,3	A	現状維持
	在宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置(25年度未入所者数:66人)														
	2 生活管理指導事業	長寿福祉課	85	248(248)	市規定	単費	○	サービス	市民	委	5	生活支援安全網	1,3	A	現状維持
	社会生活の適応困難な高齢者に対し養護老人ホームの短期間宿泊サービスを提供(利用者2人・41日)														
	3 生きがい活動支援通所事業	長寿福祉課	1,729	-	市規定	単費	○	サービス	市民	委	5	生活支援安全網	1,3	A	終了・廃止
	家に閉じこもりがちな高齢者に対しデイサービスセンターの入浴や機能訓練等サービスを提供(延398回)														
3 社会参加を支える環境整備	4 老人日常生活用具給付等事業	長寿福祉課	8	89(89)	市規定	単費	○	サービス	市民	扶	5	生活支援安全網	1,2	B	現状維持
	要介護老人及びひとり暮らし老人に対し日常生活用具を給付(電磁調理器1件)														
	5 介護予防安心住まい推進事業	長寿福祉課	318	1,600	府規定	国府全額	-	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	1,3	B	終了・廃止
	住宅改修費用の一部を助成(対象費用16万円を上限として、2/3)(対象事業2件)														
	6 家族介護支援事業	長寿福祉課	6,583	8,996(4,498)	国規定	単費	○	サービス	市民	直	5	生活支援安全網	1,2,4	A	現状維持
	在宅介護を行っている家族への支援事業(認知症サポーター養成講座、家族介護教室、家族介護交流事業等)を実施														
	7 成年後見制度利用支援事業	長寿福祉課	220	922(461)	国規定	単費	○	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	3	S	拡大
	高齢者支援関係者への成年後見人制度の紹介及び申立支援の実施														
	8 福祉用具・住宅改修費事業	長寿福祉課	6	20(10)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	補	5	生活支援安全網	2,4	A	現状維持
	介護保険における住宅改修費の支給の申請に係る理由書の作成に対して補助金を交付(3件)														
4 介護予防の推進	9 地域自立生活支援事業	長寿福祉課	53,339	55,647(32,231)	国規定	国・一部	-	サービス	市民	委	5	生活支援安全網	1,3	A	統合(整理)
	介護保険の要介護認定で「自立」と認定された高齢者等へ生活支援サービスを提供														
4 介護予防の推進	10 高齢者安心生活支援事業	健康推進課	1,439	858(458)	なし	単費	○	サービス	市民	直	5	生活支援安全網	1,2	A	縮小
	包括支援センター等との連携の下、高齢者を対象に保健師等が訪問指導を実施(延969件)														
	1 福祉有償運送運営助成事業	長寿福祉課	14,643	17,332(16,272)	市規定	府・一部	含む	サービス	事業者	補	5	生活支援安全網	1,2	A	現状維持
福祉有償運送サービスを実施する事業者に補助金交付(利用者283人・11,465回)															
4 介護予防の推進	1 二次予防事業対象者把握事業	長寿福祉課	1,958	2,883(607)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1	A	現状維持
	効果的な介護予防サービスを講じるため、生活機能低下のおそれのある高齢者を把握														
4 介護予防の推進	2 通所型介護予防事業	長寿福祉課	18,779	24,211(5,086)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,4	A	現状維持
	要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上を対象に、機能向上・栄養改善プログラムを実施														

施策方針	事務事業 事業内容(実績) 担当課		予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果			
			H25決算額	H26予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	対象	実施 手法	関与必要性 数値 説明	施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性		
4 介護予防の推進	3	訪問型介護予防事業 要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上を対象に、看護師・保健師による訪問を実施	長寿福祉課	5,688	6,222 (1,309)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,4	A	現状維持
	4	介護予防普及啓発事業 65歳以上の高齢者に対し、予防のための実践教室・講習会・講座を開催(211回実施)	長寿福祉課	1,583	1,656 (348)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,3	A	現状維持
	5	地域介護予防活動支援事業 介護予防に関わるボランティア等の人材や地域活動組織の育成・支援等を実施	長寿福祉課	130	400 (84)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,2,3	A	現状維持
	6	地域包括支援センター事業 地域包括支援センターを核とした各種関係機関との連携強化、高齢者の総合相談や実態把握	長寿福祉課	93,762	93,952 (4,235)	義務	国・一部	-	-	-	-	-	-	1,2,3,4	S	現状維持
	7	地域包括ケア推進事業 高齢者の終末期在宅療養ケアに係る多職種連携研修、認知症高齢者と家族介護者支援を実施	長寿福祉課	1,365	3,112 -	国規定	国府全額	-	サー ビス	市民	委	5	生活支援 安全網	1,2,3	A	現状維持
	8	介護予防支援事業 要支援1又は2と判定された方に対し、要介護状態への移行予防の観点から、介護予防ケアマネジメントを実施	長寿福祉課	19,963	23,260 (724)	義務	単費	○	-	-	-	-	-	1,3,4	A	現状維持
	1	介護サービス利用負担軽減事業 介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に助成金を交付(交付16法人等、対象者555人)	長寿福祉課	19,723	20,000 (5,000)	国規定	府・一部	-	サー ビス	事業者	補	5	生活支援 安全網	4	A	現状維持
	2	老人福祉施設建設資金借入金償還補助金 高齢者福祉の拠点施設整備を行った社会福祉法人に対し、施設整備債務の償還金額の一部を助成	長寿福祉課	46,565	35,339 (35,339)	市規定	単費	○	施設 整備	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	4	A	縮小
3	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金 介護基盤の緊急的な整備を行う事業者に対し費用の一部を助成	長寿福祉課	43,805	7,200 -	国規定	国府全額	-	施設 整備	事業者	補	4	民間補完 福祉増進	4	A	現状維持	
4	介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金【明許繰越】 平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業	長寿福祉課	-	60,000 -	平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業											
5	網野通所介護事業(網野通所介護事業所一般経費を含む) 要支援・要介護認定者に対し、通所のために必要な介助や機能訓練等を実施	長寿福祉課	46,090	52,677 -	国規定	単費	○	サー ビス	市民	委	5	生活支援 安全網	2,4	A	統合 (整理)	
6	弥栄通所介護事業(弥栄通所介護事業所一般経費を含む) 要支援・要介護認定者に対し、通所のために必要な介助や機能訓練等を実施	長寿福祉課	53,996	44,212 -	国規定	単費	○	サー ビス	市民	委	5	生活支援 安全網	2,4	A	統合 (整理)	
7	老人保健施設介護サービス事業(老人保健施設一般経費等を含む) 老人保健施設ふくじゅで介護を必要とする高齢者に対しリハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供	長寿福祉課	578,431	501,790 -	国規定	単費	○	サー ビス	市民	委	5	生活支援 安全網	2,4	A	現状維持	
8	介護・福祉人材育成支援事業 介護施設等において適切にたんの吸引等を行うことができる介護職員養成のための研修経費	長寿福祉課	-	2,934 (1,884)	平成26年度新規事業											
6 「健康大長寿」のまちづくり	1	健康長寿のまちづくり推進事業 第6回健康大長寿のさとづくりフォーラムを開催(来場者686人)	長寿福祉課	1,700	3,637 (1,333)	なし	府・一部	-	サー ビス	市民	直・委	3	個性魅力	1,3	A	現状維持
	2	在宅健康管理システム事業【再掲】Ⅲ-① 携帯端末機器と自動血圧計を活用して、在宅の市民に保健師が健康指導を実施(利用者数:延185人)	健康推進課	2,753	2,897 (2,897)	市規定	単費	○	サー ビス	市民	直・委	4	民間補完 福祉増進	1	A	現状維持
施策方針への位置付けが困難な事業	1	高齢者福祉一般経費 高齢者福祉施設の維持管理及び高齢者福祉事業に必要な事務経費	長寿福祉課	530	589 (589)	なし	単費	○	内部 管理	-	-	-	-	1,2,3,4	A	現状維持
	2	国民年金事務 国民年金の加入促進及び外国籍高齢者特別給付金(市独自制度)の支給	保険事業課	1,599	1,602 (1,440)	市規定	国・一部	含む	サー ビス	市民	直・扶	5	生活支援 安全網	1	A	現状維持
			計	1,240,650	1,207,122 (296,301)											

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

**ACT**

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27~29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	2	網野高齢者すこやかセンターを廃止する	5,693千円	

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	01敬老祝い事業
細事業名	01 敬老祝い事業			決算書 P.140
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
25,855千円	25,869千円	14千円	99.9%	27,516千円

**目的** 各区等が行う敬老会事業に対して補助金を交付するとともに、喜寿・100歳以上の各対象者に対し祝い品を贈呈し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表する。

**主要な事務・事業及び成果の概要**

高齢者の長寿をお祝いし、今後もますます元気で健康に暮らしていただくことを祈念するために地区主催での敬老会実施を支援した。また、喜寿・100歳以上の方へ記念品を贈呈した。

■敬老会の主な内容  
 式典・・・記念品の贈呈、敬老の言葉、祝電披露  
 余興・・・演芸、合唱、踊りほか

敬老会						記念品贈呈者数	
町別	主催	対象者数	参加者数	参加率(%)		100歳以上	喜寿
		(75歳以上)		参加率	前年度		
峰山	地区等	2,179	984	45.2	46.5	8	156
大宮	地区等	1,566	633	40.4	40.7	3	93
網野	地区等	2,667	951	35.7	36.5	24	194
丹後	地区等	1,303	588	45.1	46.6	8	94
弥栄	地区等	1,132	591	52.2	52.1	11	73
久美浜	地区等	2,337	840	35.9	36.1	27	148
合計		11,184	4,587	41.0	41.7	81	758

○敬老会補助金（地区等開催） 24,796千円  
 敬老会の補助金対象年齢は、75歳以上（補助金2,250円/人）  
 ○喜寿、100歳以上の方への祝い品 1,059千円  
 喜寿：折りたたみ伸縮杖、100歳以上：カタログギフト

**主な財源** 繰入金 地域振興基金繰入金 13,000千円

**評価・課題等** 平均寿命の延伸や今後の高齢化社会の進展を鑑み、対象年齢等の事業内容の見直しが必要となっている。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	03老人クラブ 活性化支援事業																					
細事業名	01 老人クラブ 活性化支援事業			決算書	P.140																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
8,940千円	9,071千円	131千円	98.5%	8,651千円																					
目的	老人クラブの活動に対して助成を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う友愛訪問活動事業、健康づくり事業、広報・加入促進事業等に対し、補助金を交付した。</p> <p>【補助対象内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>単位老人クラブ（106クラブ、2,785人）の活動に対する補助</td> <td>4,915 千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会の活動に対する補助</td> <td>394 千円</td> </tr> <tr> <td>友愛訪問活動事業に対する補助</td> <td>310 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内の介護施設8か所を訪問、寄せ植えしたプランター等をプレゼントした。また、11月には宇治市の老人クラブを訪問し交流を深めた。</td> </tr> <tr> <td>各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助</td> <td>620 千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助（年2回発行）</td> <td>712 千円</td> </tr> <tr> <td>市老人クラブ連合会事務局員設置（2人）に対する補助</td> <td>1,500 千円</td> </tr> <tr> <td>府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助</td> <td>249 千円</td> </tr> <tr> <td>会員拡大・加入促進事業に対する補助</td> <td>150 千円</td> </tr> <tr> <td>世代間交流事業に対する補助</td> <td>90 千円</td> </tr> </table>					単位老人クラブ（106クラブ、2,785人）の活動に対する補助	4,915 千円	市老人クラブ連合会の活動に対する補助	394 千円	友愛訪問活動事業に対する補助	310 千円	市内の介護施設8か所を訪問、寄せ植えしたプランター等をプレゼントした。また、11月には宇治市の老人クラブを訪問し交流を深めた。		各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助	620 千円	市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助（年2回発行）	712 千円	市老人クラブ連合会事務局員設置（2人）に対する補助	1,500 千円	府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助	249 千円	会員拡大・加入促進事業に対する補助	150 千円	世代間交流事業に対する補助	90 千円
単位老人クラブ（106クラブ、2,785人）の活動に対する補助	4,915 千円																								
市老人クラブ連合会の活動に対する補助	394 千円																								
友愛訪問活動事業に対する補助	310 千円																								
市内の介護施設8か所を訪問、寄せ植えしたプランター等をプレゼントした。また、11月には宇治市の老人クラブを訪問し交流を深めた。																									
各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助	620 千円																								
市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助（年2回発行）	712 千円																								
市老人クラブ連合会事務局員設置（2人）に対する補助	1,500 千円																								
府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助	249 千円																								
会員拡大・加入促進事業に対する補助	150 千円																								
世代間交流事業に対する補助	90 千円																								
主な財源	府補	老人クラブ 助成事業費補助金（2/3）			4,793千円																				
評価・課題等	<p>○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕事業等を支援することで事業を円滑に実施することができ、健康保持及び社会貢献に大きく寄与した。</p> <p>○会員数は年々減少傾向にあることから、老人クラブの組織の充実強化について支援、協議等を行い、単位クラブの減少に一定歯止めがかかった。</p> <p>○今後も会員拡大、加入促進のための活性化施策を進める必要がある。</p>																								
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																								

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	11 網野高齢者すこやかセンター-施設管理事業	
細事業名	01 網野高齢者すこやかセンター-施設管理事業			決算書	P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
8,306千円	8,560千円	254千円	97.0%	8,560千円	
目的	サークル活動などの会場及び入浴施設を提供し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。</p> <p>○事業の内容</p> <p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 5,085千円 (消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)</li> <li>・ 役務費 161千円 (通信運搬費、火災保険料)</li> <li>・ 委託料 2,944千円 (施設管理委託、消防設備保守点検等)</li> <li>・ 使用料及び賃借料 116千円 (清掃用具借上料、コピー機借上料)</li> </ul> <p>年間施設利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴利用者数 16,991 人</li> <li>研修室等利用者数 (件数) 620 人 (78件)</li> </ul>				
主な財源	使用料 網野高齢者すこやかセンター-使用料			3,440千円	
評価・課題等	<p>○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者福祉の推進に貢献している。</p> <p>○限られた高齢者による利用が主となっており、また、入浴施設は民間にも同様の施設があることから、市の公共施設見直し計画に基づき、民間などへの移譲を前提に協議・検討を進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	14福祉施設等指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書	P.144
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
10,892千円	10,893千円	1千円	99.9%	11,251千円	
目的	指定管理者の創意工夫に基づいて高齢者拠点施設を管理運営することにより利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理を円滑に行うための経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理委託料 <span style="float: right;">10,326千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網野社会参加交流ハウス <span style="float: right;">1,299千円</span> (延べ利用者数：7,990人)</li> <li>・丹後老人福祉センター松風苑 <span style="float: right;">7,657千円</span> (延べ利用者数：5,034人)</li> <li>・弥栄生きがい交流センター <span style="float: right;">1,370千円</span> (延べ利用者数：2,061人)</li> </ul> </li> <li>○修繕料（網野社会参加交流ハウス電気炉修繕） <span style="float: right;">361千円</span></li> <li>○建物火災保険料 <span style="float: right;">125千円</span></li> <li>○土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料） 1,565㎡ <span style="float: right;">80千円</span> ※台帳面積割合による按分で土地借上料を算定する。 浜詰区：60千円 塩江区：20千円</li> </ul>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進が図れた。</p> <p>○地域の高齢者のために有効な施設であるが、松風苑については、市の公共施設見直し計画に基づき、民間などへの移譲を前提に協議・検討を進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業																	
細事業名	01 シルバー人材センター運営助成事業			決算書 P.204																	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																	
23,600千円	23,600千円	0千円	100.0%	23,600千円																	
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供と、ボランティア活動をはじめとする社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	定年退職者等に、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成することにより、高齢者福祉の推進を図った。																				
	<p>【事業概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度末</th> <th>平成24年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤職員</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>787人</td> <td>797人</td> </tr> <tr> <td>就業延べ人員</td> <td>71,602人</td> <td>65,223人</td> </tr> <tr> <td>受注件数</td> <td>5,581件</td> <td>5,296件</td> </tr> <tr> <td>契約金額</td> <td>290,681千円</td> <td>267,854千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費 50千円  ○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費 50千円  ○企画提案方式事業補助金「ひと・土・花」ふれあい事業 2,500千円</p> <p>(1) アンテナショップ事業  ・シルバーアンテナショップ「和い輪い」(峰山町呉服 丹海峰山30番街内)  ・会員製作の小物・手芸・着物リフォーム作品の展示・販売、「ふれあい農園」で採れた花や農作物の販売  ・延べ就業人員 1,725人</p> <p>(2) ふれあい農園野菜・花作り事業  ・延べ就業人員 227人</p> <p>(3) 高齢者生きがいと健康づくり事業(介護講習、料理講習、健康づくり講習他)  ・延べ参加人員 364人</p> <p>○シルバー人材センター運営費補助金 21,000千円</p>					平成25年度末	平成24年度末	常勤職員	9人	8人	会員数	787人	797人	就業延べ人員	71,602人	65,223人	受注件数	5,581件	5,296件	契約金額	290,681千円
	平成25年度末	平成24年度末																			
常勤職員	9人	8人																			
会員数	787人	797人																			
就業延べ人員	71,602人	65,223人																			
受注件数	5,581件	5,296件																			
契約金額	290,681千円	267,854千円																			
主な財源																					
評価・課題等	高齢者の就業機会の確保に加え、高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術等が地域社会に活かされるとともに、生きがいづくりや社会参加の機会確保につながっている。																				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	02老人保護措置事業																																
細事業名	01 老人保護措置事業			決算書 P.140																																
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																
149,020千円	149,747千円	727千円	99.5%	155,867千円																																
目的	概ね65歳以上の方で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅における生活の継続が困難な方を養護老人ホームに入所させ、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホームに入所措置し、対象者の心身の健康の保持及び生活の安定を図った。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○養護老人ホーム入所措置事務費 32千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>入退所立会等旅費 2千円</li> <li>入所判定委員会委員報償金 24千円 (4千円×2人×3回)</li> <li>入所者相続財産管理人選任経費 6千円</li> </ul> </li> <li>○養護老人ホーム入所措置費 148,988千円</li> </ul> <p>&lt;養護老人ホーム入所者数&gt; (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">24年度末 入所者数</th> <th colspan="2">25年度中異動</th> <th rowspan="2">25年度末 入所者数</th> </tr> <tr> <th>入所</th> <th>退所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満寿園（京丹後市）</td> <td>56</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>成相山青嵐荘（宮津市）</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>三愛荘（福知山市）</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>長生園（南丹市）</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>71</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	24年度末 入所者数	25年度中異動		25年度末 入所者数	入所	退所	満寿園（京丹後市）	56	10	13	53	成相山青嵐荘（宮津市）	11	0	2	9	三愛荘（福知山市）	3	0	0	3	長生園（南丹市）	1	0	0	1	合計	71	10	15	66
施設名	24年度末 入所者数	25年度中異動		25年度末 入所者数																																
		入所	退所																																	
満寿園（京丹後市）	56	10	13	53																																
成相山青嵐荘（宮津市）	11	0	2	9																																
三愛荘（福知山市）	3	0	0	3																																
長生園（南丹市）	1	0	0	1																																
合計	71	10	15	66																																
主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金			30,526千円																																
評価・課題等	<p>○地域包括支援センター等との連携により、申請者の状況把握に努め、入所措置をすることにより高齢者虐待の防止と生活改善に寄与した。</p> <p>○今後は、高齢化に伴い入所希望者も増えることが予想されるが、適切な入所措置に努めるとともに、入所措置とならない方に対する支援として、さらに他施策と連携する必要がある。</p>																																			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																																			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	06生活管理指導事業						
細事業名	01 生活管理指導事業			決算書 P.142						
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
85千円	263千円	178千円	32.3%	263千円						
目的	生活習慣の欠如など社会生活の適応が困難な高齢者に対して、養護老人ホーム等において短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援を行い、自立した生活の助長を図る。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>要介護状態ではないが、社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等において短期間の宿泊サービスを提供することにより、生活習慣の指導や体調調整を行い、在宅生活を営めるよう支援した。</p> <p>【実績】</p> <table> <tr> <td>利用者数</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>41日</td> </tr> <tr> <td>生活管理指導事業委託料</td> <td>85千円(2,080円×41日)</td> </tr> </table> <p>(事業委託先)</p> <p>社会福祉法人あしぎぬ福祉会 社会福祉法人丹後福祉会</p>				利用者数	2人	利用日数	41日	生活管理指導事業委託料	85千円(2,080円×41日)
利用者数	2人									
利用日数	41日									
生活管理指導事業委託料	85千円(2,080円×41日)									
主な財源										
評価・課題等	さらなる高齢化社会の進展が予想される中、在宅生活を営めるよう支援を行うことで、社会生活の適応が困難な高齢者の自立した生活に寄与した。									
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課									

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	07生きがい活動支援通所事業																		
細事業名	01 生きがい活動支援通所事業			決算書 P.142																		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																		
1,729千円	1,729千円	0千円	100.0%	2,624千円																		
目的	家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対し、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等のサービスを提供し、心身の機能の維持向上を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対して、デイサービスセンター等において入浴や機能訓練等のサービスを提供することにより、高齢者が生きがいをもって自立した生活を送るとともに、心身機能の維持向上を図ることを支援した。</p> <p>○生きがい活動支援通所事業委託料 1,729千円</p> <p>【実績】 (単位：回、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託先</th> <th>延べ利用回数</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(福)みねやま福祉会</td> <td>36</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>(福)丹後福祉会</td> <td>186</td> <td>1,004</td> </tr> <tr> <td>(福)はしうど福祉会</td> <td>20</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>(福)あしぎぬ福祉会</td> <td>156</td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>398</td> <td>1,729</td> </tr> </tbody> </table> <p>みねやま福祉会（はごろも苑）、丹後福祉会（浜詰ふれあいセンター）  はしうど福祉会（いちがお園）  あしぎぬ福祉会（いきがい交流センター・弥栄保健福祉センター）</p>				委託先	延べ利用回数	委託金額	(福)みねやま福祉会	36	130	(福)丹後福祉会	186	1,004	(福)はしうど福祉会	20	100	(福)あしぎぬ福祉会	156	495	計	398	1,729
委託先	延べ利用回数	委託金額																				
(福)みねやま福祉会	36	130																				
(福)丹後福祉会	186	1,004																				
(福)はしうど福祉会	20	100																				
(福)あしぎぬ福祉会	156	495																				
計	398	1,729																				
主な財源																						
評価・課題等	○各種サービスの提供により、閉じこもりがちな在宅の高齢者の介護予防に効果があった。 ○利用者ごとに事業評価を行うなど事業内容の見直しが必要となっていたことから、財政的にも有利な介護予防事業に平成26年度から移行する。																					
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	08老人日常生活用具給付等事業										
細事業名	01 老人日常生活用具給付等事業			決算書 P.142										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額										
8千円	89千円	81千円	8.9%	89千円										
目的	ひとり暮らしの要援護老人等に対し、電磁調理器等を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図るとともに、貸与した老人福祉電話の基本料を助成し福祉の向上を図る。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>65歳以上の要援護老人及びひとり暮らし老人に対し、必要に応じて日常生活用具を給付又は貸与を行った。(対象者の収入に応じて負担額を設定)</p> <p>平成25年度は電磁調理器を1件給付した。老人用電話回線の新規貸与は無く、休止も0件であった。</p> <p>○電磁調理器の給付</p> <table border="0"> <tr> <td>給付件数</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>給付金額</td> <td>8 千円</td> </tr> </table> <p>○老人福祉電話の貸与</p> <table border="0"> <tr> <td>継続設置</td> <td>9 件</td> </tr> <tr> <td>新規設置</td> <td>0 件</td> </tr> <tr> <td>休止回線</td> <td>0 件</td> </tr> </table>				給付件数	1 件	給付金額	8 千円	継続設置	9 件	新規設置	0 件	休止回線	0 件
給付件数	1 件													
給付金額	8 千円													
継続設置	9 件													
新規設置	0 件													
休止回線	0 件													
主な財源														
評価・課題等	防火等の配慮が必要なひとり暮らし老人等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付又は貸与することで住み慣れた地域での生活の維持に貢献している。													
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課													

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	16介護予防安心住まい推進事業
細事業名	01 介護予防安心住まい推進事業			決算書 P.144
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
318千円	318千円	0千円	100.0%	1,600千円
目的	要介護状態となる恐れが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を助成することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>65歳以上の要介護状態となる恐れが高い虚弱な状態にある高齢者等で、市民税非課税世帯の方の住宅改修費用の3分の2を助成した。(上限160千円)</p> <p>○ 補助対象工事</p> <p>① 手すりの取り付け</p> <p>② 段差の解消</p> <p>③ 滑りの防止又は移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更</p> <p>④ 引き戸等への扉の取替え</p> <p>⑤ 洋式便所等への便器の取替え</p> <p>⑥ その他①から⑤の住宅改修に附帯して必要となる住宅改修</p> <p>○ 事業実績</p> <p>補助対象工事費            521 千円</p> <p>補助金額                    318 千円</p> <p>事業実施件数              2 件</p>			
主な財源	府補 介護予防安心住まい推進事業補助金 (10/10)			318千円
評価・課題等	<p>○要介護状態となる恐れが高い高齢者等の住宅改修費用の一部を助成することにより、生活機能の維持向上及び転倒事故防止が図られ、高齢者が自宅で生活を営むことを支援することができた。</p> <p>○府からの全額補助であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要があるとともに、府から補助金が廃止となる場合には、事業廃止を含め、補助金の見直しについて検討する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費	介護保険事業特別会計				
事業名	02 家族介護支援事業							
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額				
6,583千円	7,172千円	589千円	91.7%	9,505千円				
目的	在宅でおおむね65歳以上の高齢者を介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに心身の回復を支援し、在宅福祉の向上を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	市の認知症対策として市地域、介護保険事業所等と連携し、認知症高齢者見守り事業（認知症サポーター養成講座、徘徊搜索模擬訓練、交流会等）を実施した。 また、介護による家族の精神的・肉体的・経済的な負担軽減を図るため、家族介護教室事業、家族介護交流事業、介護用品支給事業及び家族介護慰労金事業を実施した。							
	○ 認知症高齢者見守り事業						132 千円	
	・ 認知症サポーター養成講座	725人受講（21講座）						
	○ 家族介護教室事業（介護技術・認知症）						224 千円	
		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計
	介護技術	7人	5人	3人	2人	9人	17人	43人
	認知症	7人	6人	8人	3人	—	6人	30人
	合計	14人	11人	11人	5人	9人	23人	73人
	○ 家族介護交流事業						362 千円	
	・ 市全体実施分							
	第1回	第2回	計					
参加人数	7人	30人	37人					
・ 町ごとの実施分								
	合同実施		合同実施			久美浜	計	
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄			
参加人数	10人	1人	14人	8人	4人	7人	44人	
○ 介護用品支給事業						5,865 千円		
・ 支給対象者数	166 人							
○ 家族介護慰労金事業						0 千円		
主な財源	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）				6,583千円		
評価・課題等	○認知症高齢者見守り事業の実施により、認知症に対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、ボランティアの育成及び本人や家族を支援することができた。 ○家族介護者の精神的な負担の軽減について、一定の成果が図れた。							
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課							

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費	介護保険事業特別会計									
事業名	03 成年後見制度利用支援事業												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額									
220千円	476千円	256千円	46.2%	476千円									
目的	認知症等の理由で判断能力が低下し、成年後見制度の利用が必要な方への申立て支援や助成を行い、高齢者の権利・財産の保全と安定した市民生活を図る。												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○成年後見制度の利用が必要な状況であるにもかかわらず、申立てを行う親族がいない、低所得者で費用負担ができない等の理由で制度の利用ができない方を対象に、市長による申立てを行い、また申立費用や後見人報酬の助成を行った。</p> <p>○高齢者の支援に関わっている関係者(家族、親戚、民生委員、介護支援専門員、社会福祉協議会など)からの相談に対して、制度の紹介や申立ての支援(成年後見制度審判請求支援)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相談件数・・・・・・・・・・28件(実人数：18人)</li> <li>○ 成年後見制度審判請求支援・・・・7件(市長申立を含む)</li> <li>○ 市長申立件数・・・・・・・・・・3件(後見類型2件、保佐類型1件)</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・ 申立てに係る郵券料</td> <td style="text-align: right;">5千円</td> </tr> <tr> <td>・ 申立てに係る登記手数料等</td> <td style="text-align: right;">11千円</td> </tr> <tr> <td>・ 成年後見用診断書作成手数料</td> <td style="text-align: right;">6千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 22千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※ 上記22千円のうち、3,980円は本人から求償</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年後見人等報酬助成金 <span style="float: right;">198千円</span></li> </ul>					・ 申立てに係る郵券料	5千円	・ 申立てに係る登記手数料等	11千円	・ 成年後見用診断書作成手数料	6千円	合計 22千円	
・ 申立てに係る郵券料	5千円												
・ 申立てに係る登記手数料等	11千円												
・ 成年後見用診断書作成手数料	6千円												
合計 22千円													
主な財源	繰入金 一般会計繰入金(包括的支援事業・任意事業)				220千円								
評価・課題等	<p>○制度の啓発や申立の支援・助成を行うことで、成年後見制度の活用につなげることができ、高齢者の権利・財産の保全が図られた。</p> <p>○身寄りのない高齢者や身寄りがあっても家族と全く疎遠となっている高齢者が増加していることから、市長申し立ての検討を要するケースの増加が見込まれる。今後は、関係機関と連携を図りながら、後見人の受け手の確保や制度利用の促進体制の整備などにも取り組む必要がある。</p>												
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課												

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費	介護保険事業特別会計	
事業名	04 福祉用具・住宅改修支援事業				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
6千円	20千円	14千円	30.0%	20千円	
目的	住宅改修費の支給申請にかかる「住宅改修理由書」を作成した居宅介護支援事業所等に対して、謝金を交付することで、住宅改修事業を支援する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>居宅介護支援を受けていない要介護者等の住宅改修理由書を、介護支援専門員が作成した場合、理由書1件につき2,000円の謝金を交付する。</p> <p>○ 住宅改修理由書作成謝金 (2千円×3件) 6千円</p>				
主な財源	繰入金 一般会計繰入金 (包括的支援事業・任意事業)				6千円
評価・課題等	謝金の交付により住宅改修費の支給申請をスムーズに行うことができ、要介護高齢者の身体状況・住宅環境に合った住宅改修の促進の一助となった。				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費	介護保険事業特別会計						
事業名	05 地域自立生活支援事業									
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市			計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
53,339千円	53,552千円	213千円	99.6%	65,841千円						
目的	生活支援サービスを提供することで、高齢者及び障害者が住み慣れた地域社会の中で、引き続き自立した生活を継続していくことを支援し、高齢者等の福祉の向上を図る。									
主要な事務・事業及び成果の概要	○ 食の自立支援サービス事業									
	食事の支度が困難なため日常生活に支障のあるひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、ひとり暮らしの重度障害者等に対し、定期的に栄養のバランスの取れた食事や、病態食、特別食などを配達するとともに、配達時に安否の確認を行った。									
	・ 提供食数(朝、昼、夕の計) (単位:食)									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
	3,736	3,655	3,328	3,437	2,495	2,446	2,610	2,492	2,508	
	1月	2月	3月	計						
	2,370	2,267	2,505	33,849						
	・ 配食サービス委託料								38,549千円	
	・ 網野栄養支援センター維持管理費ほか								7,203 千円	
	○ 安心生活見守り事業									
ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯及びこれに準ずる世帯並びに重度心身障害者等高齢者等のいる世帯へ緊急通報装置を貸与し、家庭内の事故等による通報・相談に24時間365日専門知識を有するオペレータが対応した。										
設置数(件)		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計		
新規設置数		4	2	7	6	6	4	29		
設置数(年度末時点)		103	56	152	44	38	34	427		
利用実績(回)		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	計		
緊急通報回数		7	2	9	1	1	3	23		
うち救急車搬送		6	2	9	1	0	3	21		
相談・連絡回数		107	35	167	63	45	50	467		
・ 安心生活見守り事業委託料								7,587 千円		
主な財源	繰入金	一般会計繰入金(包括的支援事業・任意事業)						34,219千円		
	使用料	地域支援事業使用料(食の自立支援サービス利用料)						6,655千円		
評価・課題等	○食の自立支援サービス事業については、定期的に栄養バランスのとれた食事等を配達することで、高齢者や障害者が住み慣れた地域の中で自立した生活の継続につながった。 ○安心生活見守り事業については、独居高齢者等に対し緊急通報装置を貸与することで、緊急時の対応はもとより、日常生活における健康上の不安及び孤独感の解消が図れた。									
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課									

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	15高齢者安心生活支援事業																																																																												
細事業名	01 高齢者安心生活支援事業			決算書 P.144																																																																												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																																																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																												
1,439千円	1,529千円	90千円	94.1 %	1,529千円																																																																												
目的	市域中心部から離れ、交通の利便も悪く、医療機関からも遠いなどの地域の高齢者に対して、保健師等による訪問指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図る。																																																																															
主要な事務・事業及び成果の概要	対象地区内の65歳以上の高齢者を対象に保健師等が訪問し、健康状態の把握、健康管理指導を行い、必要に応じて包括支援センターやその他関係機関につなぐなど連携を図った。																																																																															
	<p>○訪問実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">継続分</th> <th colspan="3">新規分</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>実件数</th> <th>延件数</th> <th>地区数</th> <th>実件数</th> <th>延件数</th> <th>実件数</th> <th>延件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>58</td> <td>61</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>58</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>30</td> <td>188</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>46</td> <td>47</td> <td>12</td> <td>585</td> <td>623</td> <td>631</td> <td>670</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>180</td> <td>346</td> <td>12</td> <td>585</td> <td>623</td> <td>765</td> <td>969</td> </tr> </tbody> </table> <p>※無医地区、辺地、過疎地域などから、年度ごとに計画的に訪問地区を設定し、全数訪問を行った結果、引き続き支援が必要な方については継続訪問を行っている。</p> <p>※介護保険の要介護認定者、福祉サービス利用者については、適宜実態把握を行っているため対象外としている。</p> <p>○事業費</p> <table> <tr> <td>臨時保健師賃金 (1人)</td> <td>1,044千円</td> </tr> <tr> <td>臨時看護師賃金 (1人)</td> <td>393千円</td> </tr> <tr> <td>需用費 (消耗品)</td> <td>2千円</td> </tr> </table>					継続分		新規分			合計		実件数	延件数	地区数	実件数	延件数	実件数	延件数	峰山町	8	8	0	0	0	8	8	大宮町	19	20	0	0	0	19	20	網野町	19	22	0	0	0	19	22	丹後町	58	61	0	0	0	58	61	弥栄町	30	188	0	0	0	30	188	久美浜町	46	47	12	585	623	631	670	合計	180	346	12	585	623	765	969	臨時保健師賃金 (1人)	1,044千円	臨時看護師賃金 (1人)	393千円	需用費 (消耗品)
	継続分		新規分			合計																																																																										
	実件数	延件数	地区数	実件数	延件数	実件数	延件数																																																																									
峰山町	8	8	0	0	0	8	8																																																																									
大宮町	19	20	0	0	0	19	20																																																																									
網野町	19	22	0	0	0	19	22																																																																									
丹後町	58	61	0	0	0	58	61																																																																									
弥栄町	30	188	0	0	0	30	188																																																																									
久美浜町	46	47	12	585	623	631	670																																																																									
合計	180	346	12	585	623	765	969																																																																									
臨時保健師賃金 (1人)	1,044千円																																																																															
臨時看護師賃金 (1人)	393千円																																																																															
需用費 (消耗品)	2千円																																																																															
主な財源	府補	未来づくり交付金 (高齢者安心生活支援事業)	500千円																																																																													
評価・課題等	<p>○保健師等が対象地区を訪問し、対象者の健康状態の把握や健康管理指導を行うことにより、高齢者が健康で自立した生活を送るための支援ができた。</p> <p>○平成25年度末で5年間の訪問計画を終了したが、結果として高齢者の13%に疾病の悪化予防や介護予防が継続して必要であるなどの課題があった。今後は、対象者を絞り悪化予防の継続訪問を行い、保健福祉医療に関する相談等に対応し、健康の保持増進、異常の早期発見治療、介護状態の予防を図る必要がある。</p>																																																																															
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																																																																															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	04福祉有償運送運営助成事業					
細事業名	01 福祉有償運送運営助成事業			決算書 P.142					
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額					
14,643千円	14,644千円	1千円	99.9%	16,541千円					
目的	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対し、移送サービスを提供する福祉有償運送事業を支援することにより、在宅の高齢者や障害者の方が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図った。また、低所得者が利用した場合に事業者が減免した利用料に対し、補助を行った。								
	【事業実績】								
	実利用者数	283人	(H24:331人)						
	延べ利用回数	11,465回	(H24:12,302回)						
	福祉有償運送事業費補助金	13,786千円	(H24:12,515千円)						
	総事業費(23,681千円)ー利用料収入(9,895千円)								
	【実績内訳】平成26年3月末現在 (単位:人)								
	利用登録者数等	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
		登録者数	95	118	134	72	55	74	548
		実利用者	50	60	76	30	18	49	283
	(単位:回)								
対象者延べ利用回数	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	
	高齢者	605	760	1,362	277	271	441	3,716	
	透析者	918	844	744	388	598	3,577	7,069	
	障害者	83	176	107	115	70	129	680	
	合計	1,606	1,780	2,213	780	939	4,147	11,465	
【利用料減免補助】(※京都府地域包括ケア総合交付金事業)				857千円					
内訳									
社会福祉協議会 減免分				785千円					
NPO法人のついで 減免分				72千円					
主な財源	府補	京都府地域包括ケア総合交付金(10/10)		857千円					
	市債	過疎地域自立促進特別事業債(過疎対策債)		2,700千円					
評価・課題等	○高齢者や障害者の日常生活の移動手段として有効に利用され、地域福祉の向上が図れた。 ○市からは事業費の収支不足分を補助金として支出しているため、事業者に一層効率的な事業運営を求めていく必要がある。								
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課								

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	01介護予防二次予防事業対象者施策事業費	介護保険事業特別会計	
事業名	01 二次予防事業対象者把握事業				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,958千円	2,053千円	95千円	95.3 %	3,123千円	
目的	生活機能が低下し要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を早期に把握し、効果的な介護予防サービスを講じる。				
主要な事務・事業及び成果の概要	二次予防事業対象者を早期に把握するため、65歳以上の介護保険被保険者のうち、要介護・要支援認定者を除いた第1号被保険者を対象に生活機能に関する状態の把握調査を次のとおり実施した。				
	基本チェックリスト実施者数		8,894 人		
二次予防事業対象者数		4,679 人			
<p>● 実施方法</p> <p>基本チェックリストを郵送し、持参又は郵送により提出された基本チェックリストに基づき、把握調査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消耗品費 <span style="float: right;">123千円</span></li> <li>○ 印刷製本費 <span style="float: right;">244千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本チェックリスト送付用封筒</li> </ul> </li> <li>○ 通信運搬費 <span style="float: right;">1,591千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本チェックリスト郵送代</li> </ul> </li> </ul>					
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）	484千円		
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）、地域包括ケア総合交付金（10/10）	242千円		
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）	880千円		
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）	352千円		
評価・課題等	<p>○二次予防事業対象者を早期に把握したことにより、運動器の向上プログラムなどの通所型介護予防事業や特にハイリスクと思われる対象者へ保健師などの訪問による介護予防事業につなげることができた。</p> <p>○基本チェックリストの未提出者については健康推進課との連携で把握したが、生活機能評価の意義（介護の予防）について周知を図る必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	01介護予防二次予防事業対象者施策事業費	介護保険事業特別会計	
事業名	02 通所型介護予防事業				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
18,779千円	19,167千円	388千円	97.9%	22,057千円	
目的	通所による生活機能の向上や心身機能の改善のための介護予防プログラムを実施し、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	要支援・要介護状態になるおそれのある65歳以上の高齢者（二次予防事業対象者）を対象に、直営・委託にて運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラムを実施した。				
	実施内容		実施箇所数	実施回数	参加人数（実）
	運動器の機能向上プログラム		9箇所	95回	84人
	栄養改善プログラム		1箇所	7回	7人
	生きがい通所プログラム		5箇所	延3,712人	106人
	計		15箇所	-	197人
	○ 臨時職員賃金				254千円
	○ 報償費				357千円
	○ 消耗品費				59千円
	○ 燃料費（運動・栄養教室）				42千円
○ 通信運搬費（運動・栄養教室）				58千円	
○ 傷害保険料（運動教室参加者保険料）				70千円	
○ 委託料				17,939千円	
・ 介護予防事業委託料（運動教室）			1,684千円		
・ 送迎車運転委託料			204千円		
・ 血液検査委託料			27千円		
・ 健やか生きがい教室委託料			16,024千円		
京丹後市社会福祉協議会（大宮支所）			11,043千円		
京丹後市社会福祉協議会（久美浜支所）			2,806千円		
社会福祉法人あしぎぬ福祉会			1,527千円		
社会福祉法人丹後福祉会			648千円		
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）		5,552千円	
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）		2,775千円	
		支払基金交付金（介護予防事業）		7,141千円	
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）		2,859千円	
評価・課題等	○介護予防プログラムを実施することで、参加者には生活機能の維持・改善がみられた。 ○本事業は、生活機能の維持・改善がみられる効果的な事業であり、参加率の向上を図る必要がある。				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	01介護予防二次予防事業対象者施策事業費	介護保険事業特別会計	
事業名	03 訪問型介護予防事業				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
5,688千円	5,692千円	4千円	99.9%	6,079千円	
目的	生活機能の向上や心身機能の改善のための訪問指導を実施することにより、要介護状態となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化を防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	二次予防事業対象者で閉じこもり、認知症やうつ等のおそれがある等、心身の状況等により通所形態による介護予防事業の参加が困難な方を対象に、看護師及び保健師が訪問指導を行った。				
	訪問実人数17人 延べ175人				
	○ 臨時職員賃金				5,078千円
	・ 臨時看護師	1人	1,904千円		
・ 臨時保健師	2人	3,174千円			
○ 共済費（社会保険料・雇用保険料）				610千円	
主な財源	国補	地域支援事業交付金（介護予防事業）			1,218千円
	府補	地域支援事業交付金（介護予防事業）			610千円
	支払基金交付金	支払基金交付金（介護予防事業）			2,756千円
	繰入金	一般会計繰入金（介護予防事業）			1,104千円
評価・課題等	二次予防対象者に対する定期訪問により、より細やかな相談や指導を行うことで介護予防事業等の参加に繋がるとともに継続的な支援を行うことができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	02介護予防一般高齢者施策事業費	介護保険事業特別会計	
事業名	01 介護予防普及啓発事業				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,583千円	2,320千円	737千円	68.2%	2,320千円	
目的	介護予防講演会の開催や高齢者が集う場所等での介護予防のための情報提供等を行い、介護予防知識の普及・啓発を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	65歳以上の高齢者等に対し、運動機能低下を予防するための実践教室、低栄養予防のための講習会、その他介護予防のための講座を開催し、介護予防知識の普及・啓発を図った。				
	実施内容		実施回数	参加人数	
	介護予防教室等の開催	いきいき運動教室、リハビリ教室、男性料理教室等	162	1204	
	相談会や講演会の開催	サロン、老人クラブへの健康相談・講演	49	225	
	計		211	1429	
	○ 臨時職員賃金			115千円	
	・ 臨時職員	1人	57千円		
	・ 臨時看護師	1人	58千円		
	○ 報償費			384千円	
	・ 講師謝金 (いきいき運動倶楽部、高齢者サロン健康相談)				
○ 需用費			279千円		
・ パンフレット、事務用品、公用車燃料代、車検費用等					
○ 役務費			170千円		
・ 郵送料 (事業案内等)			53千円		
・ 自動車登録手数料、自動車損害共済保険料、自動車損害保険料			15千円		
・ 介護予防 (機能訓練) や研修会等参加者傷害保険料			102千円		
○ 委託料			604千円		
・ いきいき運動倶楽部委託料			541千円		
・ 送迎車運転委託料 (高齢者サロン健康相談)			63千円		
○ 使用料及び賃借料 (会場使用料他)			1千円		
○ 公課費 (自動車重量税)			30千円		
主な財源	国補	地域支援事業交付金 (介護予防事業)	391千円		
	府補	地域支援事業交付金 (介護予防事業)	196千円		
	支払基金交付金	支払基金交付金 (介護予防事業)	582千円		
	繰入金	一般会計繰入金 (介護予防事業)	233千円		
評価・課題等	○高齢者にとって参加しやすい身近な地域で開催されている高齢者サロンや老人会での健康教室を実施することで、介護予防の普及啓発実施に役立った。				
	○また、地域からの要望に応じるかたちでニーズにあった健康教室を行う事ができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課				

予算科目	04地域支援事業費	01介護予防事業費	02介護予防一般高齢者施策事業費	介護保険事業特別会計							
事業名	02 地域介護予防活動支援事業										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額							
130千円	200千円	70千円	65.0%	548千円							
目的	介護予防に関わるボランティア等の人材や地域活動組織の育成・支援等を実施し、地域における介護予防活動を促進する。										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○高齢者自身がボランティア活動を行うことで自身の介護予防に繋げる事業          高齢者が行う介護支援ボランティア活動を通して地域貢献をすることで、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防に繋げる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施事業</th> <th>サポーター受入 機関登録施設数</th> <th>サポーター登録 (活動)人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援見守りサポーター活動事業</td> <td>33</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 介護支援ボランティア事業委託料 130 千円          (受託者：京丹後市社会福祉協議会)</p>					実施事業	サポーター受入 機関登録施設数	サポーター登録 (活動)人数	介護支援見守りサポーター活動事業	33	27
	実施事業	サポーター受入 機関登録施設数	サポーター登録 (活動)人数								
介護支援見守りサポーター活動事業	33	27									
主な財源	国負	地域支援事業交付金 (介護予防事業)	33千円								
	府負	地域支援事業交付金 (介護予防事業)	16千円								
	支払基金交付金	支払基金交付金 (介護予防事業)	58千円								
	繰入金	一般会計繰入金 (介護予防事業)	23千円								
評価・課題等	<p>○ボランティア育成のための研修会等を実施することで、社会福祉協議会のもとで、高齢者サロンの立ち上げから軌道に乗せるまでの流れができるようになった。          ○介護予防に資する地区活動組織の育成及び支援を行うことで、地域活動組織による高齢者サロンの主体的な実施につなげることができた。          ○高齢者がボランティア活動を行うことで、自身の介護予防につながった。</p>										
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課										

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	01包括的支援事業費	介護保険事業特別会計																			
事業名	01 地域包括支援センター事業																						
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																			
93,762千円	96,688千円	2,926千円	96.9%	97,469千円																			
目的	地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行うセンターの運営を通じ、地域福祉の増進を包括的に支援する。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内の6つの町域ごとに設置されている地域包括支援センター及び分室を核とし、初期総合相談窓口として委託方式で設置されている民間の在宅介護支援センター5か所等各種関係機関との連携を強化することで、高齢者の総合相談や実態把握を行うとともに、予防事業へのケアマネジメントを実施した。</p> <p>○ 総合相談支援・権利擁護業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年間相談件数</th> <th>地域包括支援センター</th> <th>在宅介護支援センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td> <td>2,310件</td> <td>339件</td> </tr> <tr> <td>権利擁護（成年後見制度等）に関すること</td> <td>39件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>高齢者虐待に関すること</td> <td>69件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,418件</td> <td>346件</td> </tr> <tr> <td>実態把握</td> <td>189件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 在宅ケアスタッフ会議、ケアマネジャー会議等を通じ、医療、介護及び福祉の連携を図った。</p> <p>○ 介護予防ケアマネジメント業務 二次予防事業対象者の予防プランの作成を行った（4件）</p> <p>○ 職員人件費（12人） 89,345 千円</p> <p>○ 地域包括支援センター業務委託料 3,000 千円</p> <p>○ 地域包括支援センターシステム保守委託料 369 千円</p> <p>○ その他経費（旅費、消耗品等事務経費、公用車維持管理経費 ほか）1,048 千円</p>					年間相談件数	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	2,310件	339件	権利擁護（成年後見制度等）に関すること	39件	2件	高齢者虐待に関すること	69件	5件	計	2,418件	346件	実態把握	189件	
	年間相談件数	地域包括支援センター	在宅介護支援センター																				
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	2,310件	339件																					
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	39件	2件																					
高齢者虐待に関すること	69件	5件																					
計	2,418件	346件																					
実態把握	189件																						
主な財源	国補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）			40,777千円																		
	府補	地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）			20,388千円																		
	繰入金	一般会計繰入金（包括的支援事業・任意事業）			32,597千円																		
評価・課題等	<p>○各地域で開催されている民生児童委員会議に参加して、民生児童委員との情報・意見交換を行うことにより、地域の現状や課題について把握・検討するとともに、民生児童委員からの相談、同行訪問等が増えるなど、総合相談支援・権利擁護業務等の総合相談窓口としての機能充実が図れた。</p> <p>○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務では、ネットワーク会議を通じ市内事業所とのきめ細かい連携をとったことにより、要介護者等の在宅生活の支援を図ることができた。</p>																						
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																						

予算科目	04地域支援事業費	02包括的支援事業・任意事業費	02任意事業費	介護保険事業特別会計	
事業名	08 地域包括ケア推進事業				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,365千円	1,366千円	1千円	99.9%	0千円	
目的	可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○多職種連携在宅療養支援事業</p> <p>高齢者の終末期の在宅療養ケアについて在宅主治医や病院関係者、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員、訪問看護師等の各職種が情報を共有し、支援方針を明確にし、それぞれの役割を担い、繋いでいく支援体制を整える「多職種連携」を進めた。</p> <p>「在宅療養コーディネーター連絡会議」 (於)京丹後市福祉事務所  (第1回)平成25年10月30日、(第2回)平成25年12月26日</p> <p>「多職種連携による在宅療養支援研修会」  (2市2町共同開催)平成25年11月17日 (於)宮津ロイヤルホテル  (単独開催)平成26年3月9日 (於)京丹後市福祉事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報償金(在宅療養コーディネーター、多職種の代表者、講師) 368千円</li> <li>・旅費 54千円</li> <li>・需用費 28千円</li> </ul> <p>○認知症高齢者支援事業(初期認知症対応型カフェ)</p> <p>初期認知症の方とその家族を対象に、本人の居場所・生きがいづくりの場の提供を行った。また、初期認知症の方への日常生活支援や認知症に関する相談など、家族介護者の支援や介護負担の軽減などの支援を行った。</p> <p>【実施場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人あしぎぬ福祉会 養護老人ホーム満寿園</li> <li>・社会福祉法人北丹後福祉会 特別養護老人ホーム久美浜苑くまのの里</li> <li>・認知症高齢者支援事業委託料 915千円</li> </ul>				
主な財源	府補	地域包括ケア総合交付金			1,365千円
評価・課題等	<p>○多職種が連携して在宅療養の現状や課題、将来の展望などを共通認識として学び、相互に理解を深め、課題解決のための方策を検討することは、在宅療養ケアの推進に効果があった。</p> <p>○初期認知症の方と家族が同じ立場にいる人と出会うことで、本人・家族のつながりを形成できる場とすることができた。</p> <p>○今後も増加が予想される認知症高齢者を支えるため、認知症ケアに関わる人材の育成、医療・介護の連携強化、認知症高齢者や家族に対する地域の支援体制の整備等が必要である。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課				

予算科目	02サービス事業費	03介護予防支援事業費	01介護予防支援事業費	介護サービス事業特別会計							
事業名	01 介護予防支援事業										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額							
19,963千円	20,420千円	457千円	97.7%	21,691千円							
目的	要支援1または2と判定された方に対して、要介護状態への移行予防の観点から、介護予防ケアマネジメントを行う。										
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>要支援者が心身の状況や置かれた環境、本人・家族等の希望を踏まえ、介護予防に資する医療・福祉サービスを適切に利用できるよう介護予防支援計画の作成を、地域包括支援センターで行うとともに、業務の一部を居宅介護支援事業者に委託して実施した。また、その計画に基づいたサービスの提供が確保されるよう事業者等との連絡調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 臨時職員賃金、共済費（社会保険料及び雇用保険料） 7,989千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健師（2人）、社会福祉士（1人）、介護支援専門員（1人）</li> <li>看護師（1人）</li> </ul> </li> <li>○ 事務費（消耗品費、職員旅費） 278千円</li> <li>○ 公用車（訪問車）リース料、燃料代、自動車損害保険料 528千円</li> <li>○ ADSL回線等使用料 1,222千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センターと業務委託先の居宅介護事業者間におけるデータ送受信</li> </ul> </li> <li>○ 地域包括支援センターシステム保守委託料 1,604千円</li> <li>○ 介護予防支援業務委託料 8,198千円</li> <li>○ 備品購入費 134千円</li> <li>○ 各種研修会参加負担金 10千円</li> </ul> <p>【事業の成果】 （予防給付支援計画作成件数）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>市直営</td> <td>3,531</td> </tr> <tr> <td>委託</td> <td>1,921</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,452</td> </tr> </table>					市直営	3,531	委託	1,921	計	5,452
市直営	3,531										
委託	1,921										
計	5,452										
主な財源	サービス収入 介護予防サービス計画費収入				23,264千円						
評価・課題等	適切な介護予防支援計画の作成により、要支援者が住み慣れた地域で、安心、安全に暮らすことができるよう介護予防サービスにつなげることができた。										
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課										

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	09介護サービス利用負担軽減事業
細事業名	01 介護サービス利用負担軽減事業			決算書 P.142
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,723千円	19,724千円	1千円	99.9%	19,000千円
目的	介護保険サービス利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対し、助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>低所得者で生計の維持が困難である者が、介護保険サービスを利用した時の利用者負担額について、社会福祉法人等が軽減を行った場合に、軽減を行った社会福祉法人等に対して、市がその一部を助成した。</p> <p>○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 19,714千円  助成金交付法人等数 16 法人等  利用者負担軽減対象者数 555 人  (延べ 747 人 )</p> <p>○過年度府支出金返還金 9千円  ※平成24年度介護保険事業費補助金</p>			
主な財源	府補 介護保険事業費補助金 (3/4)			14,785千円
評価・課題等	低所得で生計が困難な要介護被保険者等が介護サービスを利用する際の費用負担を軽減することでサービスの利用促進を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業																																				
細事業名	01 老人福祉施設建設資金借入金償還補助金			決算書 P.142																																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																				
46,565千円	46,566千円	1千円	99.9%	46,566千円																																				
目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の返済の一部を助成し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉の拠点となる施設整備を行った法人に対し、施設整備に係る債務の償還金額の一部について助成を行った。</p> <p>○建設資金借入金償還補助</p> <table border="0"> <tr> <td>特別養護老人ホームはごろも苑</td> <td>10,000千円</td> <td>(H25年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑</td> <td>4,465千円</td> <td>(H40年度まで)</td> </tr> <tr> <td>おおみや苑複合施設</td> <td>11,640千円</td> <td>(H30年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームおおみや苑</td> <td>5,000千円</td> <td>(H30年度まで)</td> </tr> <tr> <td>丹後園デイサービスセンター</td> <td>1,500千円</td> <td>(H27年度まで)</td> </tr> <tr> <td>第二丹後園</td> <td>80千円</td> <td>(H25年度まで)</td> </tr> <tr> <td>第二丹後園</td> <td>4,260千円</td> <td>(H36年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム満寿園</td> <td>4,952千円</td> <td>(H42年度まで)</td> </tr> <tr> <td>久美浜デイサービスセンター</td> <td>526千円</td> <td>(H28年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム海山園</td> <td>1,500千円</td> <td>(H33年度まで)</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームふるさと</td> <td>2,363千円</td> <td>(H49年度まで)</td> </tr> </table> <p>○改築資金借入金償還補助</p> <table border="0"> <tr> <td>特別養護老人ホーム満寿園</td> <td>279千円</td> <td>(H40年度まで)</td> </tr> </table>				特別養護老人ホームはごろも苑	10,000千円	(H25年度まで)	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑	4,465千円	(H40年度まで)	おおみや苑複合施設	11,640千円	(H30年度まで)	特別養護老人ホームおおみや苑	5,000千円	(H30年度まで)	丹後園デイサービスセンター	1,500千円	(H27年度まで)	第二丹後園	80千円	(H25年度まで)	第二丹後園	4,260千円	(H36年度まで)	特別養護老人ホーム満寿園	4,952千円	(H42年度まで)	久美浜デイサービスセンター	526千円	(H28年度まで)	特別養護老人ホーム海山園	1,500千円	(H33年度まで)	特別養護老人ホームふるさと	2,363千円	(H49年度まで)	特別養護老人ホーム満寿園	279千円	(H40年度まで)
特別養護老人ホームはごろも苑	10,000千円	(H25年度まで)																																						
特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑	4,465千円	(H40年度まで)																																						
おおみや苑複合施設	11,640千円	(H30年度まで)																																						
特別養護老人ホームおおみや苑	5,000千円	(H30年度まで)																																						
丹後園デイサービスセンター	1,500千円	(H27年度まで)																																						
第二丹後園	80千円	(H25年度まで)																																						
第二丹後園	4,260千円	(H36年度まで)																																						
特別養護老人ホーム満寿園	4,952千円	(H42年度まで)																																						
久美浜デイサービスセンター	526千円	(H28年度まで)																																						
特別養護老人ホーム海山園	1,500千円	(H33年度まで)																																						
特別養護老人ホームふるさと	2,363千円	(H49年度まで)																																						
特別養護老人ホーム満寿園	279千円	(H40年度まで)																																						
主な財源																																								
評価・課題等	<p>○不足する施設の整備を行う社会福祉法人に対し助成を行うことによって、介護・福祉サービス基盤を確保することができた。</p> <p>○介護サービス事業所の施設が整ってきた状況で、概ね制度目的を達成したため、既存施設の償還補助は継続しつつ、新規施設への償還補助については制度の廃止を含め、検討する必要がある。</p>																																							
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																																							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10高齢者福祉施設整備助成事業	
細事業名	03 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金			決算書 P.142	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
43,805千円	103,805千円	60,000千円	42.1 %	2,214千円	
目的	地域の特性に応じた介護・福祉サービス基盤の整備を推進することにより、高齢者等が身近な生活圏域の中で、さまざまな介護・福祉サービスを利用できる環境を整える。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした施設整備を行う事業者に対し、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金を活用して助成を行った。</p> <p>○対象事業</p> <p>(1) 介護基盤緊急整備特別対策事業（施設整備） 30,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付額 30,000千円 ふれあいホーム桃山（社会福祉法人 丹後福祉会）</li> <li>※基準額:1施設当たり30,000千円</li> </ul> <p>(2) 既存施設スプリンクラー整備特別対策事業 10,205 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付額 1,476千円 おおみや苑あけだの家（社会福祉法人 丹後大宮福祉会）</li> <li>・補助金交付額 2,214千円 あけぼの荘（社会福祉法人 不動園）</li> <li>・補助金交付額 1,370千円 田村ゆうゆうの里（社会福祉法人 太陽福祉会）</li> <li>・補助金交付額 2,507千円 川上ふれあいの家（社会福祉法人 太陽福祉会）</li> <li>・補助金交付額 2,638千円 グループホームいきがい（社会福祉法人 太陽福祉会）</li> </ul> <p>(3) 施設開設準備経費助成事業 3,600 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付額 3,600千円 ふれあいホーム桃山（社会福祉法人 丹後福祉会）</li> <li>※基準額:宿泊利用定員1人当たり600千円</li> </ul>				
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2">参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>43,805千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な執行率</td> <td>100.0 %</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業 60,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護基盤緊急整備特別対策事業（施設整備） 2施設</li> <li>あしぎぬホーム なごみ 30,000千円（H26.10月完成予定） （社会福祉法人 あしぎぬ福祉会）</li> <li>いさなご荘（社会福祉法人 不動園） 30,000千円（H26.11月完成予定）</li> </ul>	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	43,805千円	実質的な執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		43,805千円		
	実質的な執行率	100.0 %			
主な財源	府補	介護基盤緊急整備特別対策事業費交付金（10/10）		43,805千円	
評価・課題等	<p>○本事業の活用により、事業者が円滑に開設準備を進めることができた。</p> <p>○スプリンクラー設備整備費用の一部を補助することにより、防火安全対策が強化された。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	02サービス事業費	01居宅サービス事業費	01居宅サービス事業費	介護サービス事業特別会計
事業名	01 網野通所介護事業（網野通所介護事業所一般経費を含む）			
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
46,090千円	48,033千円	1,943千円	95.9%	55,619千円
目的	介護保険で要支援または要介護に認定された高齢者に対し、必要な介助や機能訓練等を行うことで、利用者の心身機能の維持及び向上や社会的孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	介護保険法に規定されている通所介護事業及び介護予防通所介護事業を京丹後市社会福祉協議会に委託して実施した。			
	○ 網野デイサービス事業委託料		38,267千円	
	(網野通所介護事業所(網野デイサービスセンター)の運営事業の委託に係る事業費)			
	【運営概要】			
通所定員		30人		
委託先		社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会		
利用者は、網野デイサービスセンターに通所し、サービス(必要な介助や機能訓練等)を利用する。				
【事業の成果】				
区分		サービス日数	年間延利用者数	前年比較
要介護者		257日	4,080人	0.8%減
要支援者		257日	1,483人	22.2%増
合計			5,563人	4.4%増
○ 一般管理経費		7,823千円		
事務用品、公用車燃料代、光熱水費(電気・水道・下水道)、備品修繕費、公用車維持管理費、電話代、通所介護事業システム保守料、設備保守点検料など				
主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入		40,786千円	
	サービス収入 自己負担金収入		7,542千円	
	諸収入 その他収入		370千円	
評価・課題等	○サービスを通じて、高齢者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることができた。 ○介護保険の基盤施設であり、効率的かつ安定的な運営が確保できた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	02サービス事業費	01居宅サービス事業費	01居宅サービス事業費	介護サービス事業特別会計
事業名	02 弥栄通所介護事業（弥栄通所介護事業所一般経費を含む）			
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
53,996千円	54,903千円	907千円	98.3%	54,903千円
目的	介護保険で要支援または要介護に認定された高齢者に対し、必要な介助や機能訓練等を行うことで、利用者の心身機能の維持及び向上や社会的孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	介護保険法に規定されている通所介護事業及び介護予防通所介護事業を社会福祉法人あしぎぬ福祉会に委託して実施した。			
	○ 弥栄デイサービス事業委託料		51,301千円	
	(弥栄通所介護事業所（弥栄デイサービスセンターふれあい）の運営事業の委託に係る事業費）			
	【運営概要】			
	通所定員	25人		
	委託先	社会福祉法人あしぎぬ福祉会		
	利用者は、弥栄デイサービスセンターふれあいに通所し、サービス（必要な介助や機能訓練等）を利用する。			
	【事業の成果】			
	区分	サービス日数	年間延利用者数	前年比較
	要介護者	308日	3,898人	3.6%減
要支援者	308日	788人	17.8%増	
特定施設入所者	308日	845人	45.9%増	
合計		5,531人	4.5%増	
○ 理学療法士派遣委託料		29千円		
派遣回数12回（弥栄病院から派遣）				
○ 一般管理経費		2,666千円		
光熱水費（ガス・電気・水道・下水道）、電話代、施設等修繕料、通所介護事業システム保守料など				
主な財源	サービス収入 介護保険給付費収入	40,111千円		
	サービス収入 自己負担金収入	7,376千円		
	サービス収入 特定施設入居者委託料収入	7,315千円		
	諸収入 その他収入	121千円		
評価・課題等	○サービスを通じて、高齢者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることができた。			
	○介護保険の基盤施設であり、効率的かつ安定的な運営が確保できた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	02サービス事業費	02老人保健施設事業費	01老人保健施設介護サービス事業費	介護サービス事業特別会計																											
事業名	01 老人保健施設介護サービス事業（老人保健施設一般経費等を含む）																														
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																											
578,431千円	584,212千円	5,781千円	99.0%	598,197千円																											
目的	介護を必要とする高齢者に、リハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供することによって、家庭復帰の促進を図るとともに、在宅支援を行う。																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>やさか老人保健施設「ふくじゅ」において、入所者に対して看護や医療的管理下での介護・機能訓練等の医療と日常生活の世話をを行うとともに、通所リハビリテーションによる機能訓練・居宅介護支援事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ業務委託料 462,816千円 （やさか老人保健施設（ふくじゅ）の運営事業の委託に係る事業費）</li> </ul> <p>委託先：社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会（事業開始：平成11年10月1日）</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 介護給付（要介護1～5の方を対象とする居宅サービス）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所リハビリテーション（理学及び作業療法士によるリハビリテーション）</li> <li>・短期入所療養介護（短期入所での医療上のケア、入浴・食事等の介護、機能訓練等）</li> <li>・施設介護サービス（医療的管理下での介護、機能訓練等医療や日常生活上の介護）</li> </ul> <p>(2) 介護予防給付（要支援1及び2の方を対象とする居宅サービス）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防通所リハビリテーション</li> <li>・居宅介護支援事業</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>サービス日数</th> <th>年間延利用者数</th> <th>前年比増</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">介護給付</td> <td>通所リハビリテーション</td> <td>255日</td> <td>7,441人</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>短期入所療養介護</td> <td>365日</td> <td>2,504人</td> <td>10.6%</td> </tr> <tr> <td>施設サービス</td> <td>365日</td> <td>32,040人</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護給付（予防）</td> <td>介護予防通所リハビリテーション</td> <td>255日</td> <td>1,324人</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>255日</td> <td>748人</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般管理経費（空調設備工事、公用車維持管理、備品購入費等） 50,740千円</li> <li>○ 施設整備市債償還元金 47,555千円</li> <li>○ 施設整備市債償還利子 17,320千円</li> </ul>				区 分		サービス日数	年間延利用者数	前年比増	介護給付	通所リハビリテーション	255日	7,441人	14.6%	短期入所療養介護	365日	2,504人	10.6%	施設サービス	365日	32,040人	6.9%	介護給付（予防）	介護予防通所リハビリテーション	255日	1,324人	35.0%	居宅介護支援事業	255日	748人	10.0%
区 分		サービス日数	年間延利用者数	前年比増																											
介護給付	通所リハビリテーション	255日	7,441人	14.6%																											
	短期入所療養介護	365日	2,504人	10.6%																											
	施設サービス	365日	32,040人	6.9%																											
介護給付（予防）	介護予防通所リハビリテーション	255日	1,324人	35.0%																											
	居宅介護支援事業	255日	748人	10.0%																											
主な財源	<p>サービス収入 介護保険給付費収入 426,338千円</p> <p>サービス収入 自己負担金収入 42,017千円</p> <p>サービス収入 日常生活費・居住費等 67,763千円</p> <p>サービス収入 その他収入 2,788千円</p> <p>市債 45,000千円</p>																														
評価・課題等	<p>○入所者に対し、看護や医療的管理のもとで、介護・機能訓練等のサービスやケアを行うことで、入所者の在宅復帰を促進することができた。</p> <p>○通所リハビリテーションによる機能訓練・居宅介護支援により、住み慣れた地域の中における高齢者の自立した生活の継続に寄与することができた。</p>																														
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課																														

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業	
細事業名	01 健康長寿のまちづくり推進事業			決算書	P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,700千円	1,737千円	37千円	97.8%	1,893千円	
目的	「喜ぼう！感謝しよう！長寿社会」を高く掲げ、老いや長寿の中にこそある喜びや宝をもっと発見し、長寿をますます喜び、感謝することができる機運・環境づくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>第6回健康大長寿のさとづくりフォーラム  開催日：平成25年11月9日（土）午前10時から午後3時40分  会場：京都府丹後文化会館大ホール  来場者数：686人  テーマ：健康寿命を伸ばそう！～生涯現役のすすめ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代で構成する市民サークルのステージ発表</li> <li>・市内外の“生涯現役実践者”によるトークコーナー</li> <li>・「京丹後」百寿人生のレシピ完成披露講演会&amp;シンポジウム</li> <li>・レシピ集をモチーフにした長寿食の試食コーナー、長寿弁当の販売</li> </ul> <p>○報償費（基調講演講師、パネリスト、セミナー講師等） 945 千円  ○旅費（講師等旅費） 14 千円  ○消耗品費（事務用品等） 142 千円  ○食糧費（講師等昼食代） 8 千円  ○印刷製本費（シンポジウム冊子、ポスター、リーフレット） 226 千円  ○役務費（新聞折込手数料 市内のみ1回） 64 千円  ○委託料（会場警備料、情報通信機器等設置委託料） 43 千円  ○会場借上料（京都府丹後文化会館 前日、当日の2日間） 248 千円  ○有料道路通行料 10 千円</p>				
主な財源	府補	地域包括ケア総合交付金	1,345千円		
評価・課題等	○シニア世代で構成する市民サークルのステージ発表や市内外の生涯現役実践者による生涯現役サミットなど新企画を取り入れ、生涯現役社会の実現に向けた、より実践的な手法を考える場とすることができた。 ○「京丹後」百寿人生のレシピに掲載された料理の試食コーナーや長寿弁当の販売など、市民の健康づくりに役立ててもらったとともに、郷土食を活かした「健康長寿のまち京丹後」をPRすることができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	04在宅健康管理システム事業
細事業名	01 在宅健康管理システム事業			決算書 P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,753千円	2,776千円	23千円	99.1 %	2,776千円
目的	市民が在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めるため、自動血圧計と専用の携帯端末機を貸出し、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民が在宅で、自動血圧計と携帯電話網に接続した専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバに送信。送信されたデータを保健師等がモニタリングし、必要に応じて健康指導を実施した。</p> <p>○消耗品費（指導用リーフレットほか） 88千円  ○通信運搬費（結果レポート郵送通知） 60千円  ○委託料（情報通信技術業務委託料） 2,520千円  ○使用料（ソフトウェア使用料） 85千円</p> <p>○利用状況（平成25年4月～平成26年3月累計）  利用者数 延べ 185 人  最大稼働月4月：116台、最小稼働月2月：72台  年間平均稼働率 51.8 %  1人当たりの血圧データ送信回数/月 34.4 回</p> <p>○指導状況  電話での保健指導（対応） 延べ 89件  メール指導 延べ 1,496件  訪問・来所 延べ 105件</p>			
主な財源	府補	未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）		1,000千円
評価・課題等	○利用者の血圧値の改善状況は、改善48%、変化なし39%、悪化13%であり、本事業の利用をきっかけに、生活改善に取り組んだ方は58%であり、健康管理意識の向上につながっている。 ○稼働率の向上に向け、より多くの市民に順次利用していただくため、今後も周知、勧奨等を継続していく必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	50高齢者福祉一般経費
細事業名	01 高齢者福祉一般経費			決算書 P.144
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
530千円	590千円	60千円	89.8 %	590千円
目的	高齢者福祉施設の維持管理及び事務事業を円滑に実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（事務担当者会議等 京都市） 5 千円</li> <li>○消耗品費（事務用品等） 39 千円</li> <li>○印刷製本費（写真印刷） 10 千円</li> <li>○光熱水費（網野コミュニティ広場水道料） 11 千円</li> <li>○有料道路通行料（京都縦貫自動車道） 3 千円</li> <li>○駐車場使用料 1 千円</li> <li>○賃借料（グループホーム「かえで」用地賃借料5人 2,047㎡） 461 千円</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	適正な執行を行うことにより、高齢者福祉に関する事務事業について、円滑な実施を行うことができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	18国民年金事務																												
細事業名	01 国民年金事務			決算書 P.130																												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																												
1,599千円	1,603千円	4千円	99.7 %	1,603千円																												
目的	国民年金未加入者の加入促進を図るとともに、被保険者の老後の生活の安定に寄与する。																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>年金に関する各種届出や申請等の受理及び審査を行うとともに、市民からのさまざまな年金に関する相談に対応した。また、年金受給権の確保や満額の年金が受給できるよう年金制度の周知を行った。</p> <p>あわせて、在日外国籍高齢者のうち老齢基礎年金の受給資格を得ることができなかった方へ特別給付金を支給した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○旅費</td> <td>国民年金事務説明会ほか</td> <td></td> <td>57 千円</td> </tr> <tr> <td>○消耗品費</td> <td>本庁・市民局事務用品</td> <td></td> <td>8 千円</td> </tr> <tr> <td>○通信運搬費</td> <td>進達書類郵送料</td> <td></td> <td>94 千円</td> </tr> <tr> <td>○扶助費</td> <td>外国籍高齢者特別給付金</td> <td></td> <td>1,440 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8 月支給</td> <td>6 人</td> <td>(480 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12 月支給</td> <td>6 人</td> <td>(480 千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 月支給</td> <td>6 人</td> <td>(480 千円)</td> </tr> </table>				○旅費	国民年金事務説明会ほか		57 千円	○消耗品費	本庁・市民局事務用品		8 千円	○通信運搬費	進達書類郵送料		94 千円	○扶助費	外国籍高齢者特別給付金		1,440 千円		8 月支給	6 人	(480 千円)		12 月支給	6 人	(480 千円)		4 月支給	6 人	(480 千円)
○旅費	国民年金事務説明会ほか		57 千円																													
○消耗品費	本庁・市民局事務用品		8 千円																													
○通信運搬費	進達書類郵送料		94 千円																													
○扶助費	外国籍高齢者特別給付金		1,440 千円																													
	8 月支給	6 人	(480 千円)																													
	12 月支給	6 人	(480 千円)																													
	4 月支給	6 人	(480 千円)																													
主な財源	国委	国民年金取扱事務委託金		159千円																												
評価・課題等	<p>○資格取得等の受付、保険料納付にかかる相談・保険料申請免除等の事務を適正に行い、国民年金未加入者や保険料未納者の減少に努め、年金受給権の確保に寄与することができた。また、外国籍高齢者への特別給付金の支給により、生活の維持・向上に寄与することができた。</p> <p>○年金制度は法改正が頻繁に行われるため、今後も日本年金機構との協力・連携を強化し、知識の向上と活用、適正な事務処理を行う必要がある。</p>																															
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課																															